

ジャマイカ政治・経済月間情勢（2021年8月）

【要旨】

経済では、ジャマイカが2020年6月15日に国境を再開して以来、100万人目となる訪問客を迎えた。日・ジャマイカ関係においては、草の根・人間の安全保障無償資金協力の支援により、Woman Inc が設立した虐待を受けた女性のための施設の引き渡し式が実施された。新型コロナウイルス関連では、ジャマイカは2022年3月までに国民の65%の新型コロナワクチン接種完了を目標としており、現時点で500,605回分接種された。

1 内政

(1) 有功勲章の授与

カマラ・ハリス米国副大統領の父ドナルド・ジャスパー・ハリス教授は、ジャマイカの発展に大いに貢献したことから、ジャマイカで3番目に名誉ある有功勲章を今年授与される唯一のジャマイカ人となる。（6日付グリーンナー紙）

(2) 新学期の学校体制

ウィリアムズ教育大臣は19日、9月1日の新学期開始について、ワクチン接種済みの生徒はすぐに対面授業への出席が可能となる一方、未接種の生徒は接種が完了するまでオンラインでの出席とすることを発表した。（20日付オブザーバー紙）

2 経済

(1) 海外訪問客100万人突破

ジャマイカは15日、2020年6月15日に国境を再開して以来、100万人目となる訪問客を迎えた。（15日付オブザーバー紙）

(2) 国内総生産実質成長率

ジャマイカ銀行によると、現時点における2021年度の国内総生産の実質成長率は7～10%と予測されており、5月時点に予測された5～8%より上昇した。（23日付広報局）

(3) 電子通貨の試験的運用

ジャマイカ銀行は、中央銀行電子通貨（CBDC）の試験的運用を9月に予定しており、計2億3000万ドルの電子通貨の造幣が預金等受入機関及び公認決済サービスプロバイダーに発行される。（20日付広報局）

3 外交

(1) 新国連代表部大使の発表

スミス外相は、弁護士で国際的な経営及び雇用法におけるキャリアが豊富なブライアン・ウォレス氏をジャマイカの国連代表部大使に任命したことを発表した。同氏は5月に辞職したイー・コートニー・ラトリ大使の後任となる。(19日付広報局)

(2) 駐ジャマイカ英国ハイコミッショナーの任期終了

2017年より4年間、駐ジャマイカ英国ハイコミッショナーとして従事したアシフ・アフマド・ハイコミッショナーが任期終了となった。後任は、ジュディス・スレーター氏。(24日付オブザーバー紙)

4 日・ジャマイカ関係

(1) 東京オリンピック・ボランティアへの返礼

東京オリンピック陸上ハードル金メダリスト・パーチメント選手にタクシー代を差し出し、競技に間に合うよう手助けしたオリンピック・ボランティアは、ジャマイカ政府より、厚意への返礼としてジャマイカに招待された。(8日付グリーンナー紙)

(2) 虐待被害女性のための施設開設

グランジ文化・ジェンダー・娯楽・スポーツ大臣は19日、日本政府による約1400万ジャマイカドルの支援の下、Woman Incが設立した虐待を受けた女性のための施設の完成を歓迎すると述べた。Woman Incは、「2年越しの改修の末、ついにジェンダー起因の暴力を受けた被害女性らをこの避難所にて出迎えることができる。」と述べた。(20日付広報局・オブザーバー紙)

5 新型コロナウイルス関連

(1) ワクチン関連

ア 米国により寄付された204,000回分のファイザー製ワクチンがジャマイカに到着した。同ワクチンは、優先的に子どもへの接種が行われる。(19日付グリーンナー紙)

イ ジャマイカは、2022年3月までに国民の65%の新型コロナワクチン接種完了を目標としており、現時点で500,605回分接種された。(26日付保健省)

(2) デルタ株の確認

ジャマイカでデルタ株が確認され、若年層への感染が増加しており、重症化のリスクも懸念されている。(19日付グリーンナー紙)

(3) 新型コロナ対策

ホルネス首相は新たな新型コロナ対策として、22日(日)、23日(月)、24日(火)、29日

(日)、30日(月)、31日(火)計7日間の終日外出禁止令を発表した。(19日付広報局)

この資料は、ジャマイカの政治・経済情勢を中心に各種報道・発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は、在ジャマイカ日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。